

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	健康食品の安全性の確保推進事業	事業開始年度	平成19年度	作成責任者		
担当部局庁	医薬食品局食品安全部	担当課室	基準審査課新開発食品保健対策室	森口 裕		
会計区分	一般会計	上位政策	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	食品衛生法第7条	関係する計画、通知等	「健康食品・無承認無許可医薬品健康被害防止対応要領」(局長通知)、「錠剤、カプセル状等食品の適正な製造に関する基本的考え方」(部長通知)等			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	多様化する健康食品による健康被害事例に対し、必要に応じ流通を禁止する等の迅速・適切に対応する。また、市場に流通している健康食品について、安全性試験を実施し、健康被害を未然に防止する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	健康食品による健康被害事例が発生した際、臨床医等の専門家を緊急に招集し、対応を検討するとともに、市場に流通している健康食品において安全性が疑われる成分について、安全性試験及び分析調査を実施する。					
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成17年度 専門家緊急招集会議回数 39回 「アシタバ製品中のフロクマリン」、「イチヨウ葉エキス中のギンゴール酸」、計2品目の成分について安全性試験を実施 					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	64	58	51	43	37
	執行額	41	5	15		
	執行率	63.7	8.7	30.2		
	総事業費(執行ベース)	41	5	15		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	市場に流通している健康食品において安全性が疑われる成分について、安全性試験及び分析調査を実施しているが、調査の結果、安全性が確認できず食品衛生法によって流通販売を規制する場合、販売者等に経済的損失が発生しうることから、調査内容が適正であるよう努めているところである。 また、本事業において作成したパンフレットは、全国の医療機関に配布し、近年の健康被害発生事例について情報提供しており、症状及び原因物質を早期に特定し被害を防止できるよう有効活用が図られているところである。				
	見直しの余地	近年、健康食品等が原因であることが明らかな健康被害発生件数が減少傾向にあるものの、被害発生時に迅速かつ適切に対応するため、精査の上必要な予算を確保していく。 平成20年度においては、平成20年7月に取りまとめられた『健康食品の安全性確保に関する検討会報告書』を受け、医師等専門家に出席を依頼し、今後の緊急招集時の対応体制について再確認するための打合せを1回開催した。 平成21年度においては、健康食品等に含まれる2種類の成分について、安全性確認試験を実施した。				
予算監視の・効率化	一部改善(執行状況を予算要求に反映) ここ数年、不用が生じており、予算と執行の乖離の要因を精査し、予算の縮減を図るべきである。					
補記						

厚生労働本省
2百万円

【随意契約】

A (株)太陽美術印刷
2百万円

【謝金】

B 「健康食品」安全性確保に
関する検討会フォローアップ会議
5者 0.08百万円

[健康食品の安全性確保のためのパンフレット印刷製
本]

[平成20年7月『健康食品の安全性確保に
関する検討会』報告を踏まえ、その後の推
進状況を確認するための検討会]

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万円)

事務費13百万円

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.太陽美術印刷(株)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
印刷製本費	パンフレット印刷	2			
計		10	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0.08	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0